

## 第4回 名古屋大学 海外留学シンポジウム

岩 城 奈 巳

### 1. はじめに

留学生センター海外留学室では、2009年より毎年「海外留学シンポジウム」として、学内外より留学経験者、留学に携わる企業や団体の担当者を招聘し、シンポジウムを開催している。今回で4回目となるシンポジウムは、これまで焦点を当ててきた「留学体験談」から一歩踏み込み、「留学がその後の人生にどう役立つのか」という現実的なテーマについて、交換留学より帰国した学生、学内外の留学関係者に、長期的な視点で「留学」を考え、議論をおこなった。

### 2. プログラム概要

日時：2012年3月15日（木）9：30-12：30  
会場：文系総合館7階カンファレンスホール  
主催：名古屋大学留学生センター  
後援：米国大学院学生会

挨拶：濱口道成（名古屋大学 総長）

第1部：個別発表「交換留学とその後、そしてこれから」

坂本 啓（東京工業大学 機械宇宙システム専攻 助教）

若山幹晴（工学研究科 M2 カリフォルニア大学ロサンゼルス校に交換留学）

新村友美（経済学部 4年 ノースカロライナ州立大学に交換留学）

第2部：パネルディスカッション

司会：岩城奈巳（留学生センター 准教授）

パネリスト：坂本 啓（東京工業大学 機械宇宙システム専攻 助教）

前原加奈（株式会社ディスコ 採用広報営業部 キャリア支援グループ）

若山幹晴（工学研究科 M2 カリフォルニア大学ロサンゼルス校に交換留学）

新村友美（経済学部 4年 ノースカロライナ州立大学に交換留学）

### 3. 事業内容

冒頭、濱口総長より、ご挨拶、学生の中に海外へ出ることの意義、名大生に期待すること、今後社会より求められるグローバル人材についてのお話があった。第一部では、「留学のその後、そしてこれから」というテーマで、3名の留学経験者による発表が行われた。今回シンポジウムに合わせて招聘した東京工業大学の坂本先生は、学部時代に交換留学を経験され、その後、学位留学で米国に渡り、学位取得後、日本の大学で働くという道を選んだこともあり、交換留学はもちろん、学位留学を希望している学生にとっても、良い刺激になった。工学研究科2年生の若山君は、大学院1年生時に、名古屋大学からカリフォルニア大学ロサンゼルス校へ1学年間、交換留学として派遣された。留学に至った経緯、TOEFLの勉強方法、留学中の生活、その後の希望する進路についての発表があった。さらに、再び、短期留学ではあるが、派遣が決定している韓国の大学での留学についての紹介がおこなわれ、大学院生の交換留学について魅力的に語った。経済学部の新村さんは、学部2年の夏より、1学年間、ノースカロライナ州立大学にて交換留学生として学んだ。若山君同様、語学への取り組み、現地での生活等の紹介の後、帰国後自身が取り組んできた国際交流活動についての紹介があった。新村さんは、帰国後も積極的に学内での国際交流活動に取り組み、名古屋大学代表として、ベトナムへ派遣されたり、カナダコンソーシアム名古屋大学代表として会議に参加したり、と、ノースカロライナ州立大学での経験を活かし、さまざまな国際交流イベントに参加した。また、留学と就職活動に

ついて、言及した話もあった。坂本先生からの交換留学から学位留学を目指した例、また、名古屋大学生2名の話からもわかるように、留学を体験した学生は、その経験を活かし、帰国後も、積極的に海外に目を向け、チャレンジする傾向にあることが伺えた。

第二部では、「留学は人生にどう役立つ？」をキーワードに、パネルディスカッションを行い、活発な意見交換が行われた。第一部の個別発表者に加え、留学経験者の就職支援を積極的に行っている株式会社ディスコより、採用広報営業部キャリア支援グループの前原加奈さんをゲストに迎え、冒頭、「企業の求める人材とは？」をテーマに、企業が留学経験者に期待していること、留学経験のアピール方法等についての紹介があった。パネルディスカッションのテーマは、「留学は役立つと思って留学を志したか。そして現在、どう思っているか」「留学した自分は、留学していなかったであろう自分と比べてどう異なると思うか」「留年までして、留学する意味は？」「海外留学の経験が社会人となった時どんなメリットをもたらすと思うか」の4つのテーマについてそれぞれ意見交換が行われた。海外留学室の個別相談でもとても多い、「留年までして、留学する意味は？」の問いについては、参加パネリス

ト全員から、留年と、交換留学で卒業を遅らせる意味の違い、1年損をするのではなく、1年得をしたつもりになってほしい、など、卒業を遅延させることを後ろ向きに考えないように、アドバイスがあった。また、海外経験を大学生の間にやるべき事についても様々な提案があった。最後は、全員から、チャンスがあれば行って欲しい、と参加学生に対してメッセージが送られた。パネルディスカッション後は、20分間の質疑応答が行われ、フロアからは、「留学中一番苦労したこと」「就職活動を行う上でどのようにアピールしたか」「学位留学と交換留学の一番の違いは」など、さまざまな質問があった。

#### 4. おわりに

今年度の海外留学シンポジウムも、約80名が参加し、学内の学生・教職員はもちろん、他大学からも参加者が多くあり、有意義なシンポジウムとなった。このシンポジウムは、今後も、毎年継続させ、さまざまな留学関係者の声を在校生に聞かせる場を提供し、留学について考える機会をこれからも与えていきたい。



写真1 「シンポジウムの様子」

名古屋大学 留学シンポジウム

留学が人生にどう役立つか、ズバリ語ります。

GO OUTSIDE

2012年3月15日(木)  
9:30-12:30 (受付開始 9:00)  
文系総合館7階 カンファレンスホール

【第一部】個別発表「留学とその後、そしてこれから」  
名古屋大学生（交換留学経験者）  
ゲスト（東京工科大学 機械学習システム専攻 助教）

【第二部】パネルディスカッション「留学は人生にどう役立つ？」  
司会：前原加奈（留学センター専攻）  
パネリスト：前原加奈（東京工科大学 機械学習システム専攻 助教）  
前原加奈（株式会社ディスコ 採用広報営業部 キャリア支援グループ）  
名古屋大学生（交換留学経験者）

主催：名古屋大学留学生センター-海外留学室  
協賛：名古屋大学留学生会 <http://ipnkyokai.nyu.ac.jp>  
※資料準備のため、参加希望者はメールまたは電話にてご連絡下さい  
連絡先：TEL 052-799-3196, Email: ipnkyokai@ipnkyokai.nyu.ac.jp (海外留学室)

告知ポスター 「海外留学シンポジウム2012」